

令和6年度ウエスコ財団優秀研究者賞

第9回目となる令和6年度ウエスコ財団優秀研究者賞は、以下の2名に決定しました。

① 光藤 耕一（岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授）

【研究題目】 「電気化学的手法による有機半導体分子の効率合成と活性評価」

：令和2年度研究活動費助成事業

光藤耕一氏は、有機化学の研究者で、有機電解合成反応による新反応開発に関する研究を行っています。その研究の中で、電気化学的反応により発生させた触媒活性種により炭素-ヘテロ原子を結合形成する電解触媒活性化システムを構築し、新規機能性分子の効率合成に応用することに成功しました。この手法により、機能性分子合成の最終段階に用いる遷移金属触媒の混入やコスト問題等の解決につながりました。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

② 川島 将人（受賞決定時：川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教

現在：九州工業大学 教養教育院 人文社会系 講師）

【研究題目】 「免疫系を駆使した損傷骨格筋への新たなアイシング戦略の開発」

：令和4年度研究活動費助成事業

川島将人氏は、運動生理・免疫学の研究者で、骨格筋損傷後のアイシングの有用性について研究を行っています。その研究の中で、スポーツ傷害に対してアイシングを行うべきシチュエーションを世界で初めて科学的に証明することに成功しました。この成果は、スポーツに携わる全ての人々のアイシングに対する概念をアップデートさせるものであり、今後広く一般に普及し、現場で活用されていくことが期待されます。このような学術的な功績が評価されて、今回の受賞となりました。

令和6年度ウエスコ財団優秀研究者賞の表彰式と受賞者講演会は、2025年6月3日にANAクラウンプラザホテル岡山で行われ、表彰状とともに副賞（研究奨励金 30 万円）が光藤耕一氏と川島将人氏に贈呈されました。



左より光藤氏・山地理事長・川島氏

その後、受賞者による講演会を行いました。



光藤耕一氏の受賞講演



川島将人氏の受賞講演